

平成30年度 第2回玉城町総合教育会議

■日時：平成31年3月19日（火）午前11時00分～12時15分

■場所：役場2階 第3会議室

■出席者

教育委員：水谷委員、栃本委員、北岡委員、奥藤委員
辻村町長、中西章教育長、中西豊教育委員会事務局長
事務局：総務政策課 中西元課長、
里中室長、永井主事

■配布資料

資料1：玉城町総合教育会議設置要綱
資料2：総合教育会議説明資料
資料3：平成30年度玉城町教育方針
資料4：玉城町教育大綱
別冊：玉城町人口ビジョン
別冊：玉城町まち・ひと・しごと総合戦略
別冊：第5次玉城町総合計画後期基本計画

■次第

- 1 町長あいさつ
- 2 議題
- 3 その他

■議事録

【この会議録は要点記であり、すべて発言が掲載されているものではありません】

1 町長あいさつ

- ・平成27年から総合教育会議を設置
- ・玉城町の場合は従来から意思疎通ができています
- ・この場は意見交換の場としたい

2 議題

(1) 総合教育会議について

- ・事務局から総合教育会議について説明
特段の意見無し

(2) 玉城町教育大綱について

- ・事務局から玉城町教育大綱について説明
特段の意見無し

(3) 情報交換について

教育長	<p>今日新年度の教育方針を定めたので変わったところを簡単に説明したい。</p> <ul style="list-style-type: none">■学校教育<ul style="list-style-type: none">・教育方針 P2 中項目 A2 へ「⑦読書活動の推進」を追加<ul style="list-style-type: none">・ P4 中項目 B2 「⑥協（かなう）との連携した登校支援」を追加・ P5 中項目 C5 ③を削除「⑤学校図書館の充実」を追加■生涯教育<ul style="list-style-type: none">・ P7 中項目 4 の③を進捗・現状に合わせ修正
町長	<ul style="list-style-type: none">・何度もお聞きいただいているが玉城町の町政推進は総合計画をもとに進めている。過去から教育に関して力を入れているが、今後も引き続き力を入れていく。・東京玉城会へ参加した。玉城の子供たちの活躍に皆さん驚かれていた。スポーツの分野でも子供たちが活躍してくれている。・コンパクトな町の中に 4 校区が残っているのはめずらしい。・今年度の各校区の出生数を見ると外城田地区が 15 人、下外城田地区が 19 人と減ってきている。・人口のピークが 15,700 人、現在は 15,500 人、年間 50 人程度減っている・住宅開発も行われており、選ばれる町にならなければならない。・社会情勢も変わってきた。親同士の関係も薄くなってきている。如何にして地域のコミュニティを繋いでいくかが大切である。・英語検定への助成、児童館の増設、グラウンド整備、体育館・プールの修繕、備品購入を次年度予算へ盛り込んだ。中学校は城の中の校舎、グラウンドということで制限もあるが、できるだけ対応していきたい。・一昨年の大災害を受けて、学校の防災意識も高まっているが、引き続き巨大地震に備えて欲しい。また、校区ごとの防災訓練についても実施を予定しているのでご協力願いたい。まだまだ災害復旧の整備には経費も時間もかかる。城跡の復旧も単独の力では厳しい状況にある。県や国へ働き掛けていきたい。・2,500 人を超える方がお城を訪れてくれており、大変注目いただいている。城山管理の職員も配置した。・熊野古道も 15 周年を迎えた。玄甲舎をはじめ、町の魅力を発信していく。・「協」を立ち上げ、良い形で合同会社が運営してくれている。子供たちの支援もきめ細かく対応していきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待等の事件をニュースで拝見すると、やはり身近の子供たちのことを心配してしまう。 ・不登校の子供たちが増えていることについても、協の取り組みでの成果を聞き少し安心したが、引き続き心配である。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・昔と現在での人との関わり方が違ってきている。もう少し踏み込んだ関わりも必要ではないかと考えている。地域の中の繋がりが希薄しているので、何かをきっかけに盛り上がっていくといい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親が子供のことをわかっていない、わからない状況がある。自分の経験もあるが、本当に難しい。「協」のようなきっかけがやはり必要でないか、「居場所」が改めて大切。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治区の公民館の活用は制約もあるため使いにくい。空き家の活用も考えていきたい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子供に対しては、家庭訪問を実施し、「協」を紹介。担当も1人設置し支援を始めた。自分で自分をコントロールできるように、徐々に学校へ行くエネルギーを高めていく。自尊感情を高めていくことが出来るよう取り組みを継続していきたい。 ・県へも協力を働き掛けていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外城田地区の子供が15人ということに驚いている。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町ではすでに学校の統合が進んでいる。 ・社会および時間の変化のスピードが速い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年は下外城田が同じような状況だった。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・玉城町のコンパクトさ、バランスのよさを大切にしていきたい。 ・現在下外城田PJを立ち上げ事業をすすめている。 ・4校区でそれぞれ課題が違うので個々に解決していく必要がある。 ・田丸の商店街も大きく変わった。次世代の方に繋がるような仕掛けを、今のうちに講じていく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を受けそれ以来防災ボランティアに参加している。防災は誰しもが関係してくるので、防災をきっかけにコミュニティの繋がりを強めてはどうか。一昨年の水害もあり、時期的には今ではないか。楽しく進めて行けるよう進めていったらいい。 ・下外城田PJの取り組みもとてもいいと思う。防災にも役立てていけると感じた。 ・子ども達の居場所づくりはとても大切。選択肢が増えることが大事。学校以外での人とのコミュニケーションが子供に与える影響もある。 ・玄甲舎を活用した活動も行っていきたい。 ・下外城田PJの取り組みが町全体に広がって行って欲しい。 ・知ることが大切。知ることによって興味が広がる。体験、場所づくりをどんどん増やしていきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の勤務状況を聞かせてもらっている。大変だが、子ども達の未来のためには人員の増加も必要であれば行って欲しい。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・「繋がるプロジェクト」をコンセプトにしてはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・有田では多面的機能支払が盛んに活動している。 ・世古区では公民館をどんどん利活用したいと考えている。図書館にできないかと本集めも実施している。とにかく子供たちが公民館に来てもらえるようになってほしい。児童書、漫画が欲しい。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・町も自治区の活動に関して協力していく。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で子育て講座ができたらいい、出張講座、公民館図書館はとて面白いアイデアだと思う。近くの方が参加しやすい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先日開催したものまねカラオケ大会では自治区の方に大変お世話になった。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの方が集まってくれた、飲食もあり楽しい時間を過ごしていただいた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・玄甲舎かめさんマルシェにもたくさんの方が訪れていただいた。
町長	<ul style="list-style-type: none"> ・町として課題はたくさんあるが、住民の方の意見も聞きながら、町政を推進していきたい。引き続きご協力をお願いいたします。

3 その他

特になし

以上